

解放へのオガリ

カンパにご協力を!

『解放へのオガリ』を沖縄へ!

『解放へのオガリ（叫び）』とは

大阪市にある住吉地区のシンボル『解放へのオガリ（叫び）』は1977年2月に完成し、住吉解放会館（現在：市民交流センターすみよし北）の大壁面に設置されました。沖繩出身の彫刻家・金城実さんが制作したもので、高さ12.3m・幅7.8mの母と子のレリーフです。

題名『解放へのオガリ』は、住吉地区「おがる」とは、叫ぶ・怒鳴りつける、などおがってんや」などの言いまわしで、相手を使われ方がされていました。そんな言葉をレリーフするのはいかなものかと大討論になりましたが、悪い言葉としてではなく、土着の言葉として積極的にアピールできるものが「おがる」にはあると考え、「おがり」という語法はありませんでしたが、あえて『解放へのオガリ』としたのです。また、副題を『母は闘わん』としました。

で使われていた「おがる」という言葉から命名されました。の意味ですが、通常は「おまえ、なに笑いものにするような」一つの題名に

町づくりと壁画運動

『解放へのオガリ』が制作された経緯は、当時の住吉地区における町づくり運動と深く関わります。部落解放運動が全国的に高まる中、1965年に国は「内閣同和対策審議会答申」をうけて、1969年「同和対策事業特別措置法」を施行しました。そのことを踏まえ、住吉地区では1972年に実態調査をおこない、1973年に部落解放住吉地区総合計画実行本部を立ち上げました。そして、実態調査の結果を基に「6つの原則」をまとめあげ、専門家の参画を得てマスタープランを作成し、大阪市との助役交渉で町づくりの実現を勝ち取りました。住吉地区の町づくりにおいて最も重要な点は、町づくりにおける全ての段階において地区住民が徹底して参加した事だと言えます。

住吉地区の町づくりが始まる中、建設計画中だった体育館の壁面に住吉部落の歴史を作ろうという話になりました。当時、「差別と闘う文化会議」で活躍していた金城実さんのことを地区の青年が知り、奈良県大和高田市にあった金城さんのアトリエを訪ねました。そこで制作中の沖縄戦をテーマにした『戦争と人間』を見て感銘を受け、その後、老人会・婦人部・青年部・子ども会がアトリエの見学を行い、学習会を重ね、金城さんの壁画を住吉地区の町づくりに取り入れることになりました。

こうして、『解放へのオガリ』と体育館壁面に設置されている高さ2.5m・幅2.5mの老人会・婦人部・青年部・子ども会による共同作品のレリーフ制作へとつながっていったのです。

『解放へのオガリ』の沖縄移設に協力を!

それから40年、大阪市は2016年3月末をもって市民交流センターすみよし北を閉鎖しました。今年、市民交流センターすみよし北の解体が始まります。私たちは、『解放へのオガリ』を沖縄に移設し、後世に残したいと考えています。沖縄移設には、約800万円の経費がかかります。今後、広くカンパを募っていきますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。





設置当時の住吉解放会館
 「政府は部落問題の解決をはかる「部落解放基本法」
 の制定をおこなえ！！」
 「差別をゆるさない人権のまち住吉！！」のスロー
 ガンが掲げられてある。



住田 利雄(当時、
 部落解放同盟大阪府
 連合会住吉支部
 支部長)と金城 実



金城 実

35年間大阪に住み、その間に反差別・被抑圧民衆と共に学んだ機
 会は、彫刻の共同制作でした。それは多くは解放同盟大阪府連住吉
 支部からのスタートでした。特に「解放へのオガリ」、歴史を刻ん
 だ「レリーフ」、「荊冠旗」の制作活動は金城実を彫刻家として大
 きく成長させてもらったことに感謝しております。

同時に、沖縄に帰り反基地闘争に参加していますが、その間に米
 兵による殺人傷害事件に遭遇し、そのたびに県民大会が幾度も開催
 されました。沖縄人の人権が踏みじられています。

しかし一方で水平社宣言文を想い出すとき、われわれ沖縄は古くは「人類館事件」(1903年)、
 「にんげん教科書問題」(1971年)で部落・アイヌ・朝鮮人・台湾人を差別した歴史があります。

「解放へのオガリ」を沖縄に迎えるーその歴史の反省にたつならば、「解放へのオガリ」が沖縄の
 人々にあらためて人権を問う一石にしたいものです。

「解放へのオガリ」沖縄への旅プロジェクト

* 発起人

友永 健三 (公益財団法人住吉隣保事業推進協会 理事長)
 小住 光 (部落解放住吉住宅自治会連合・住吉第五町会 会長)
 友永 健吾 (部落解放同盟大阪府連合会住吉支部 支部長)
 梶川 田鶴子 (住吉輪読会水曜組 学習者)
 木本 久枝 (住吉輪読会土曜組 学習者)
 有銘 政夫 (元沖縄県中部地区労議長)
 石川 元平 (元沖縄県教組委員長)
 崎原 盛秀 (元平和市民連絡会共同代表)
 照屋 寛徳 (衆議院議員)
 山内 徳信 (元沖縄県読谷村村長・元参議院議員)
 鎌田 慧 (ジャーナリスト)

* 参同人・募金を募集しております！
 目標額 800万円 (沖縄での設置費は含まず)

* 募金振込先

郵便振込 00990-1-82466 金城実事務局
 ゆうちょ銀行 普通預金 7605208

* 連絡先

部落解放同盟大阪府連合会住吉支部 大阪市住吉区帝塚山東5-6-15
 友永 (TEL06-6674-2521 FAX06-6674-2522)
 金城実事務局 大阪府茨木市穂積台9-104
 辻田 (TEL/FAX 072-626-4501 tsujita1939@jcom.zaq.ne.jp)
 服部 (TEL 080-1434-1652 info@hattori-ryoichi.com)

